

授業科目 レクリエーション実技Ⅰ

【担当教員名】 佐近 慎平		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
○		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 レジャー・レクリエーション支援場面における個人や集団とのコミュニケーションスキルを学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 対人援助におけるホスピタリティスキルの基礎を習得する。 2. アイスブレイキングスキルの基礎を習得する。 3. 道具を用いないレクリエーションプログラムを指導できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ホスピタリティトレーニング1 非言語コミュニケーション（視覚）			1	講義・実習
2	ホスピタリティトレーニング2 非言語コミュニケーション（触覚）			1	講義・実習
3	ホスピタリティトレーニング3 言語コミュニケーション			1	講義・実習
4	アイスブレイキングプログラム1 基本隊形と同時発声・同時動作			2	講義・実習
5	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク1			1, 2, 3	実習
6	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク2			1, 2, 3	実習
7	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク3			1, 2, 3	実習
8	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク4			1, 2, 3	実習
9	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク5			1, 2, 3	実習
10	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク6			1, 2, 3	実習
11	車いす利用者を対象としたレクリエーションワーク1			1, 3	実習
12	車いす利用者を対象としたレクリエーションワーク2			1, 3	実習
13	人間交流を目的としたレクリエーションワーク1			1, 3	実習
14	人間交流を目的としたレクリエーションワーク2			1, 3	実習
15	人間交流を目的としたレクリエーションワーク3			1, 3	実習
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		<発行年・価格 他>			
参考書		レクリエーション支援の基礎 楽し さ・心地よさを活かす理論と技術		日本レクリエーション 協会	公益財団法人日本レク リエーション協会 2008・2,000円＋税
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 受講態度・実技試験・レポート			【履修上の留意点】 レクリエーション基礎論・支援論を修得、又は履修していること		